

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通安全対策推進費

事業名 交通安全協力者見舞金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 交通安全・コミュニティ係 電話番号：058-272-1111(内3016)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50 千円 (前年度予算額： 100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	100	0	0	0	0	0	0	0	100
要求額	50	0	0	0	0	0	0	0	50
決定額	50	0	0	0	0	0	0	0	50

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域の交通安全活動を支える民間ボランティアが、活動中に災害を受けた場合の救済措置を講ずるため、昭和45年1月22日付け交対第182号により岐阜県交通安全協力者災害見舞金交付要綱を施行し制度を創設した。

交通安全活動に尽力する民間ボランティアが、その活動中に不幸にも事故にあった場合に見舞金を支給することで、県としてのお見舞い及び活動への感謝の意を表し、地域における交通安全活動の推進を図る。

(2) 事業内容

P T A、町内会、女性団体及びその他交通安全協力団体等の会員で、民間協力者として活動をする者が、その活動中に災害を受けた場合に、遺族又は負傷者に対して見舞金を支給する。

<対象となる活動>

・通学通園する園児、児童、生徒を横断歩道等路上における交通事故から守るための交通指導活動

・県・市町村、警察署の定めた交通安全指導所において、地域の交通安全を図るための交通指導活動

・交通安全啓発活動等

<見舞い金支給額(1人当たり)>

同一災害の見舞金総額が100万円を超えない範囲でつぎのとおり。

死亡：100万円、重傷：20万以内、軽傷：5万円以内、後遺障害に該当：30万円以内

(3) 県負担・補助率の考え方

県が目指す「交通事故の根絶」を実現するため。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	50	軽傷1名程度を想定
合計	50	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

交通安全活動に尽力される方に対する救済措置として、地域の交通安全活動の推進のため、行政が直接支援できる事業であることから、今後も継続していく。

(2) 事業主体及びその妥当性

地域と一体となって、交通事故や犯罪の撲滅・防止を図り、安心してらせる地域をつくるため、県がその主体的役割を果たすことが重要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

交通安全活動中に事故にあった場合に見舞金を支給することで、県としてのお見舞い及び活動への感謝の意を表し、地域における交通安全活動の推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

地域で交通安全の活動をされる方が、活動中に死傷された際に見舞金を支給するものであり、指標を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>【R2支給実績】 見舞金を支給するような事例は無かった。</p>
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和 3 年度	<p>【R3支給実績】 見舞金を支給するような事例は無かった。</p>
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	交通安全活動中に事故にあった場合に見舞金を支給することで、県としてのお見舞い及び活動への感謝の姿勢を示し、地域における交通安全活動の推進を図っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	見舞金であり、支給実績が無いことが良いことである。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 交通安全活動協力者への救済を図るうえで、事業を継続していく必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】